

横須賀市から発見された 神奈川県初記録のヒロズミノガ (鱗翅目, ミノガ科)

新津修平*

The first record in Kanagawa Prefecture
of *Ceratosticha leptodeta*, Meyrick
(Lepidoptera, Psychidae) discovered
from Yokosuka City

NIITSU Shuhei*

キーワード：神奈川県, 横須賀市, 神社, ヒロズミノガ, ミノガ科

Key words: Kanagawa Prefecture, Yokosuka City, shrine, bagworm moth, *Ceratosticha leptodeta*, Psychidae

ヒロズミノガ *Ceratosticha leptodeta* Meyrick, 1935
は成虫が雌雄共に有翅型で, ミノガ科内において原始的なミノガの一種である。著者はこの数年の間,

本種と思われる蓑を三浦半島地域の複数の地点で目撃していた。今回著者は, 2017 年 6 月に横須賀市内でミノガ類の調査を行ったところ, 本種と思われる蓑を多数採集することができた (第 1 図 A, B)。自宅に持ち帰り, 個別にサンプル瓶に移し替えた蓑を毎日観察していたところ, 蓑の採集から約 10 日後に雌の成虫が 1 個体羽化した (第 2 図)。小蛾類専用の展翅板で標本を作成した。乾燥標本の完成後, マウントして写真撮影したところ, 翅の特徴的な紋様, 大きさから本種であると判断した。本種は, 三浦半島のみならず, 神奈川県からの初記録となるミノガ科の一種ヒロズミノガである。

1 ♀, 横須賀市久里浜神社, 6.VI.2017 (採集 [蓑]), 17.VI.2017 (羽化), 新津修平採集・飼育。

第 2 図の成虫は, 久里浜神社 (横須賀市久里浜 5-19-1) の石灯籠の周囲にある玉垣 (第 1 図 C, 赤い矢印) につく粉状地衣類に付着していた蓑から飼育・羽化させた個体である。本種は, 開長約 6.6 ~ 10.0 mm 程の細長い翅を持つ日本産ミノガ科で最小のミノガである (広渡, 2013)。蓑の長さは, 約 7 ~ 8 mm で, 蓑の表面には砂粒状の小石を付着させ



第 1 図. A: 羽化殻. B: 玉垣の下部に付着する蓑. C: 採集地点の石灯籠と, ヒロズミノガの蓑が見つかった玉垣の下部 (赤い矢印).

* 〒183-0011 東京都府中市白糸台4-13-1-206

原稿受付 2017年9月30日. 横須賀市博物館業績 第733号.



第2図. 飼育羽化させたヒロズミノガ *Ceratosticha leptodeta* ♀ (2017年6月6日採集〔蓑〕, 6月17日羽化, 横須賀市久里浜).

る特徴を持つ(杉本, 2009)。

ヒロズミノガのタイプ産地は東京であるが, その後九州, 台湾からも新たに記録されている(広渡, 2013)。また近年, 韓国からも新記録種として本種の生息が報告されている(Roh and Byun, 2016)。以上のことから, 本種の東アジアにおける広域な生息分布が推定される。本種は, 広渡(2013)によって学名に対し正式な和名が付けられた。本種の記録は全国的にほとんど記録・発表されていないのが現状である。しかしながら, 本種の蓑は, 都市部や市街地の神社・仏閣, 建物の壁やブロック塀等にも普通に生息することが知られており(杉本, 2009), 蓑を観察・採集することは容易である。今回確認した成虫はメス成虫1個体のみであり, オス成虫は発見されていない。三浦半島を含む神奈川県のみならず,

関東甲信越や, その他の地方における本種の新記録の発表が望まれる。今後, 分布状況について更に注目していく必要がある。

引用文献

- 広渡俊哉(編) 2013. 日本産蛾類標準図鑑 III. 137 ページ. 学研教育出版, 東京.
- Roh S.J. and Byun B.K. 2016. Discovery of *Ceratosticha leptodeta* Meyrick, (Lepidoptera, Psychidae) from Korea. *Journal of Asia-Pacific Biodiversity*, 9 (1): 91-93.
- 杉本美華 2009. 日本産ミノガ科のミノの形態 (1). 昆虫 (ニューシリーズ), 12 (1): 1-15.